

実用機器分析【4】 分光分析の基礎と応用

【日時】 2016/6/23 (木) 13:00-17:00

【場所】 九州大学伊都キャンパス・工学部第4講義室 (西講義棟3F)

【主催】 九州大学中央分析センター

【共催】 九州大学ナノテクノロジープラットフォーム

【協力】 株式会社島津製作所、日本分光株式会社、株式会社堀場製作所

13:00-13:50 分光分析の基礎

分光分析と言っても紫外領域から近赤外領域まで様々な原理を用いて分析が行われています。当日セミナーで取り上げられる紫外可視分光、赤外分光、ラマン分光は一例であり、そのなかでも身近な紫外可視分光法を例に、光と分光、物質との応答についての簡単に解説します。

13:50-14:50 紫外可視分光測定と蛍光分光測定の基礎と両者の違い

紫外可視分光測定に使われる分光光度計と蛍光分光測定に使われる蛍光分光光度計の構成と測定法の基礎を、両者の違いを確認しながら説明します。また、測定事例及び測定に関するテクニックを紹介いたします。

15:00-16:00 赤外分光法の基礎と応用

赤外分光法は、可視領域では確認できない分子構造を明らかにすることができる手法です。このセミナーでは、赤外分光法とFTIRの原理、特徴、装置の基本構造などの基礎から微小領域を測定できる赤外顕微鏡も含めた各種測定法や最近のアプリケーションについて解説します。

16:00-17:00 顕微ラマンの基礎と測定テクニック

ラマンおよび顕微ラマン分析装置にて、好評の当社ユーザトレーニングマニュアルをベースに基本原理・特長やノウハウを交え解説します。また、多様な試料に対して分析目的に応じた最適なアクセサリを紹介いたします。

中央分析センターでは2007年から毎年定期的に分析基礎セミナーを開催しています。これは機器分析の原理・基礎知識を習得してより効果的に分析機器を使用していただくことを目的とするものです。今年度は「実用」を中心に、教科書では学べない内容も提供していきます。今回は分光分析に関して知識が得られる内容です。学内外どなたでもご参加できます。事前の参加登録にご協力をお願いします。

【問合せ・申込先】

九州大学中央分析センター伊都分室 渡辺

TEL092-802-2857

watanabe.midori.452@m.kyushu-u.ac.jp